

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	評価グリッド法とその周辺刊行小委員会	主 査 名：小島隆矢 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：岩田利枝 主 査 名：羽山広文
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「評価グリッド法」は、建築環境心理分野にて 1980 年代に提案されたニーズ把握手法であり、長く愛用されるとともに他分野にも注目されている。しかしながら「評価グリッド法」を書名に冠する書籍はまだなく、刊行が望まれてる状況であった。そこで「評価グリッド法」を中心とする書籍を刊行することを目的として、本小委員会を設置する。</p> <p>初年度：目次案作成、執筆担当決定。一次原稿案作成および出版社の決定。 2 年度：査読、入稿、校正。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：小島隆矢 (早稲田大学) 幹事：伊丹弘美 (早稲田大学) 委員：上野佳奈子 (明治大学)、大井尚行 (九州大学)、古賀誉章 (宇都宮大学)、讃井純一郎 (関東学院大学)、白川真裕 (日本大学)、高橋正樹 (文化学園大学)、辻村壮平 (茨城大学)、土田義郎 (金沢工業大学)、彭 博 (早稲田大学)、榎 究 (実践女子大学)、丸山玄 (大成建設)、宗方淳 (千葉大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2017 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 当初の目標通り、原稿案の作成を進めた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価 ・ 最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	当初の目標通り、原稿案の作成を進めた。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。